

わ 輪 を 和 で つ な ぐ

広報

しまはち通信



Shima8 news

手をかければええ

島田療育センターはちおうじは、平成29年4月で7年目を迎えます。

皆さんの応援のおかげで、無事7年目を迎えることができました。ありがとうございます。

皆さんは、NHK朝ドラの「べっぴんさん」を見ていたでしょうか。「べっぴんさん」は、子ども服メーカー「キアリス」を4人の女性で立ち上げ、運営していく物語です。その中のワンシーンを紹介します。

龍ちゃんという男の子。4人の経営者の一人、良子さんの子どもです。龍ちゃんは、元気すぎて保育園を辞めさせられてしまいました。良子さんは、龍ちゃんをお店に連れてきたのですが、店でもいたずらをしてみんなを困らせます。

良子さんは、夜、泣きながらつぶやきます。

「どうしたらいいのかな、どうしたら龍ちゃんはいうこと聞いてくれるのかな。」

もうどうやって育てたらいいのかわからない。」

お父さんの勝二さんは、翌日経営者のすみれさんに相談します。

「言うことはきかんし。物は投げたり、保育所も断られて。怒ってもあかん。なだめてもあかん。言い聞かせようと思って聞いてくれんで。」

(良子も) 追い詰められているようで。」

そこでお手伝いの喜代さんが答えます。

「…手のかかる子は、ええ悪いやなくて、人の何倍も手のかかる子はおるんです。何倍も手をかけてあげたらええんです。まわりに何人も大人がおるでしょ。誰が親やなくてみんなで育てるんです。」

翌日、すみれさんは、良子さんに伝えます。

「あのね、龍ちゃん元気すぎて、良子ちゃんひと

りやと大変やと思う。

だから、みんなで手をかけていこう」

「そういう子はきっと、人の何倍も幸せになるんやないかな」

良子さんの目に涙があふれました。

かくして、龍ちゃんへのみんなの子育てが始まったのでした。

子育てが辛く、孤独を感じていた良子さんにも、再び笑顔が戻ってきました。

島はちには、今日も多く人がやってきます。子育てをどうしたらいいかわからない人が多くやってきます。世間から責められ、相談することもできずに一人悩んでいる人が多くやってきます。そんな人が、気軽に相談でき、安心できる島はちになればいいなと思います。

「何倍も手のかかる子は、何倍も手をかけて育てたらええ。」

「そういう子はきっと、人の何倍も幸せになるんやないかな。」

そのやり方をみんなで考えていきましょう。

—“輪”を“和”でつなぐ—

これが私たちの理念です。

(所長 小沢 浩)

島田療育センターはちおうじ 年間報告

当センターが開設して6年が経過しました。28年度は、年間利用者の述べ人数は50,043人（前年度の1.08倍）、一日平均204人（療育118人、小児86人）の方に利用して頂きました（利用者総数の推移 図1）。

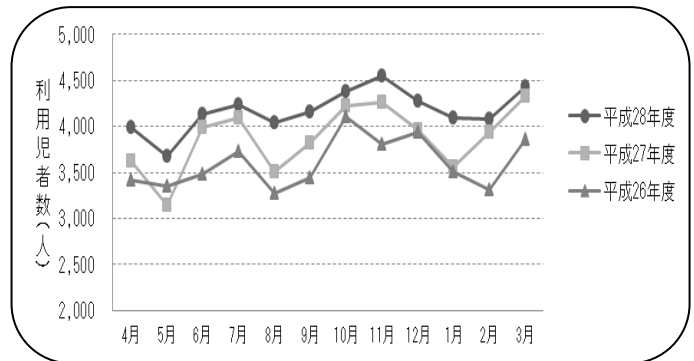
障害児者を対象とする療育診療の新規電話相談件数は1,180件、療育診療の新患総数は773人でした。療育診療は神経小児科・児童精神科ともにニーズが高く、現在、初診は神経小児科が5ヵ月待ち、児童精神科は6ヶ月待ちの状況です。発達障害を主病名とする利用者の方は開設当初から多く、医療・教育・福祉などの関係機関との連携が不可欠です。小児科診療（えみんぐ）は一日100人を超える日もあり、2診察～3診察体制で診療を行っています。また、休日診療や年始の診療にも協力しています。

重症心身障害者通所事業では、現在22名の利用者が登録されており、2年ぶりに行った第三者評価で

は、前回は上回る高い評価をして頂きました。発達障害児支援事業も、相談事業・療育支援事業（小集団指導や保護者支援等）・施設支援や普及啓発事業（講習会等）を計画通りに実行しています。

29年度も関係機関や地域住民の皆さまとの関係を大切にして、多くの利用者さまに満足して頂けるサービスを提供していきたいと思っています。

（副所長 鮎澤浩一）



からふる講習会 年間報告

毎年行っている就学情報交換会を春、秋に開催し、多くの保護者の方にご参加いただきました。他、保護者・施設職員向けの講習会と保育園・幼稚園・小学校の先生向け講習会を行い、日々お子さんと関わる方と理解を深めることができました。また、年長児グループの保護者を対象に「保護者会」として親の会の方のご協力のもと日常の悩みや出来事を皆で共有する場を設けました。

昨年度は多くの方にご参加いただき、ありがとうございました。（発達障害児支援室 塩澤 悦子）

NO.	日にち	2016年度講習会内容
1	6/19	就学情報交換会（中学校） 就学情報交換会（小学校）
2	7/9	PT/ST講習会～おいしく楽しく安全に食べるためのコツ～
3	7/29	心理講習会～早期療育の知見を集団指導・学級経営に活かす～
4	8/20	ST講習会～ことばの発達とこどもへの支援～ OT講習会～手先の不器用な子供たちへの支援～
5	9/29	就学情報交換会
		心理講習会～発達障害に関する勉強会～（年4回） ST講習会

職員向け勉強会 年間報告

島田療育センターはちおうじでは年間を通じて、様々な分野から外部講師をセンターにお招きして職員向けに勉強会を実施しております。昨年度も右記の通り、多岐に渡る分野の方々をお招きして職員向

けに勉強会を行いました。多岐に渡る分野の方々からの話しに職員の視野も広がり、たいへん有意義な勉強会となっています。

（通所科 大谷 聖信）

NO.	日にち	2016年度勉強会内容	講師
1	6/11	ダウン症のQOL	島はち遺伝外来医 日暮 眞先生
2	7/22	WOC看護師から見た重症心身障害児・者のケア	杏林大学医学部付属病院 WOC認定看護師 ニツ橋 未来先生
3	9/23	学習障害と他職種連携について	国立成育医療研究センターこころの診療部部長 小枝 達也先生
4	10/14	発達障害の日本における変遷と未来への展望	社会福祉法人 正夢の会 理事長 市川 宏伸先生
5	11/18	WOC看護師から見た重症心身障害児・者のケア②皮膚所見の見方とケア	杏林大学医学部付属病院 WOC認定看護師 ニツ橋 未来先生
6	12/9	コミュニケーション支援と重度の子どもの生活を豊かにするAAC	びゅあさぼーと・みなと理事 マジカルトイボックス 小松 敬典先生
7	1/27	私の国際協力	国際母子保健手帳委員会事務局長 国際厚生事業団 参与 特定非営利活動法人HANDS 理事 NGO ベトナムの子ども達を支援する会 事務局長 板東 あけみ先生
8	2/17	社会福祉法人法改正について	島田療育センター（多摩） 森久保 真由美次長
9	2/24	個人情報の保護と、医療安全管理の話題について	杏林大学医学部付属病院 山崎 昭先生

通所 つうしょ

努力賞



八王子市心身障害者福祉センター主催する、「感じたままに伝えたい」第31回障害者文化展に出展した作品が、めでたく努力賞をいただきました。その賞の授賞式が1月17日八王子東急スクエアで行われました。

今回出展した作品の名は、『トマトとなす』でした。その作品は、島田療育センターはちおうじの屋上で育った稲から出た藁をしきつめ、採れたトマトとなすを形にした、陶芸の焼き物を置きました。日々の園芸活動と陶芸活動に思いを込めた作品となり、喜びもひとしおでした。八王子市長より表彰状をいただくことが出来、皆さん緊張されていましたが、なかなかできない体験を終えるとホッとされていました。作品の前で「パシャリ」写真撮影を終えると、利用者の皆さんは「またここにこよう」と闘志を燃やしていました。
(通所科 實方 智保)

餅つき



昨年12月27日に地域の少年野球チーム、アストロジャガーズと交流もちつきを行いました。通所の利用者様、外来の利用者様、アストロジャガーズの選手の皆さんと一緒に「よいしょ〜！」の大きなかけ声をとともに蒸かし上がったもち米を大きな杵でつきました。皆さんのお蔭で、つきあがったお餅を鏡餅として受付に飾ることができました。今年の年末も、また皆さんと一緒に元気にお餅つきを行いたいと思います。
(通所科 大谷 聖信)

水耕栽培

通所の入口に、LED電球の光がきれいな水耕栽培のケースが12個並んでいます。「グループ まんてん」様よりご寄付をいただき、通所の園芸サークルの利用者様と一緒にレタスを中心に育てています。種まき～間引き～収穫までは約1ヶ月。日に日に大きくなるレタスを毎日見て、利用者様やりハビリ訓練で来てくれる子ども達と楽しんでいます。今では、販売サークルの利用者様が中心に行っている不定期開催ショップ「きぶんや」で販売もしています。通所の利用者様だけでなく、外来の利用者様やスタッフにも「やわらかくておいしい!」「甘みがある!」と好評で、販売の知らせを聞いて、買いに来てくださる方が多いです。

ぜひ、レタス販売を見かけた際は、ために購入してみてくださいね。お安くします!おいしいですよ〜!
(通所科 坂本 絵梨奈)

★ご寄附いただきました★
ありがとうございます



医師紹介

～4月から島田療育センターはちおうじで勤務する医師をご紹介します～



小児科医
室伏 佑香
療育診療日：水曜日

親子ともに笑顔で過ごせるよう、ご家族と一緒に考えていきたいと思ひます。



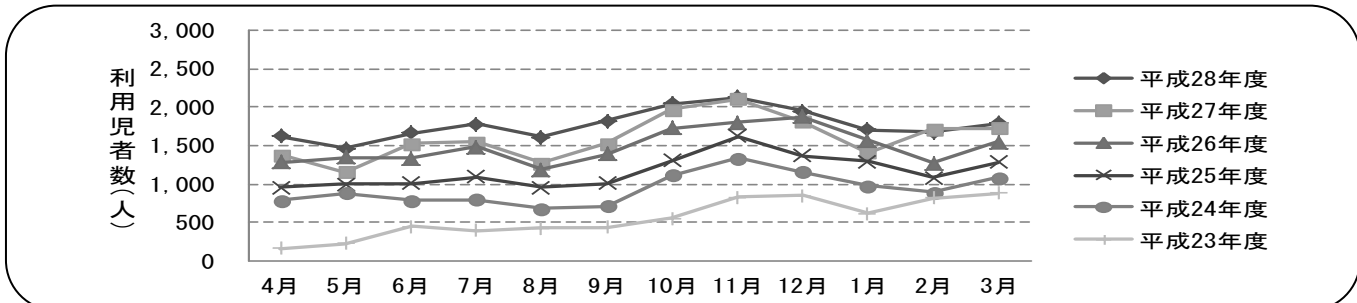
小児科医
白木 恭子
療育診療日：火曜日

このたび非常勤でお世話になることになりました。患者様に寄り添った医療を提供できるよう頑張りたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

えみんぐ♡年間報告

こどもクリニックえみんぐでは体調不良時の診療・予防接種・乳児健診などを行っています。開院して7年目になり、ご来院いただいている患者様も増え、お待ちいただく日もあり申し訳ありません。

あっという間に6年が過ぎ、日々大きくなりおしゃべりも上手になっていく子どもたちの姿をみられてとても嬉しいです。引き続き子どもたちの為に邁進していきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。
(診療科 藤岡 由夏)



ほっとひといき

世界は見えない美しさで溢れていて、ただ見い出されるのを待っているだけなのだ。

「世界から猫が消えたなら」という映画を観て、そう感じました。原作は川村元気さんの小説です。

冒頭、主人公は病により余命1日を宣告されます。そこに、主人公と同じ姿をした悪魔が現れ、寿命をのぼすための取引を持ちかけます。それは、1日生き延びることの代償に、この世界からひとつだけ何かを消すこと。電話、映画、時計。世界からどんどん“物”が消えていきます。同時に、“物”を介してつながった人間関係、それすらも消えていきました。主人公は大切な人との関係が消えていくことに苦しみながら、1日1日を生き延びます。その日々を通して、“物”のみでなく、“私たち”が世界に存在することの意義を問いかけます。

普段私たちは、物の大切さ、その物がつながてくれた人間関係の大切さには思いを馳せないことが多いでしょう。普段からそこにある、しかし普段は意識しない美しさを日常から切り出して、一つ一つ丁寧に描いた作品でした。

みなさんにも物を介して出逢った大切な人がいるのではないのでしょうか？みなさんにとって、世界から消えて欲しくない物は何ですか？



(リビ`リテ`ソコ)科言語聴覚士 梅津 直比古)

おしらせ

information

『就学情報交換会』

平成29年6月17日(土)

- ◆場所…当センター
- ◆中学校の部 10:00~12:00
- ◆小学校の部 13:30~16:30
- ◆参加費…一家族540円



島田療育センターはちおうじ 小児診療



こどもクリニック
えみんぐ

各種 予防接種を行っています。

予約制となりますので詳しくはお電話でお問い合わせください。

■診療内容

こどもがかかりやすい病気(発熱や嘔吐・下痢など)の診察・治療を行っています。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	●	●	●	●	●		
13:45~14:45	予	予	予	乳	予		
15:00~17:00	●	●	●	●	●		

予…予防接種 乳…乳児健診

*土日の他、祝日も休診となります



TEL. 042-634-9008

